



発行日: 2025年2月

発 行:公益財団法人 藤井国際奨学財団

住 所: 〒567-0034 大阪府茨木市中穂積 3-12-2 ☎: 072-621-7601

※当広報誌の文章・画像等の内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください。



2024 年度 奨学生交流会 **茨木商工会議所&GARDEN TERRACE LION** 

at 立命館大学大阪いばらきキャンパス



#### 2024 年度 奨学生交流会レポート

本年度の奨学生交流会では、奨学生の人数が従来より約10名増加したため、観光バス一台での利用が難しく、 地元茨木市にある立命館大学いばらきフューチャープラザ内の「商工会議所会議室」とレストラン「GARDEN TERRACE LION」を会場として開催しました。

交流会は藤井理事長のご挨拶に始まり、今年新たに評議員に就任された藤村様や、理事として初めて交流会に参加された越智先生、さらに奨学生選考委員を代表して西野先生にもご臨席いただき、賑やかな雰囲気の中、スタートしました。









最初に奨学生一人ひとりが自己紹介を行ない、それに対して事務局側が即興でコメントを返す形式で進行しました。このやりとりによって場が和み、自然な雰囲気が生まれました。

二度目の交流会に参加した学生からは、「ここで知り合った先輩から就職に関するアドバイスをいただき、それが実際に役立ちました」という嬉しい報告も寄せられました。また、学生たちは大学でのクラブ活動やサークル活動、趣味、さらには将来を見据えた研究テーマや資格取得に向けた取り組みについてスピーチを行ないました。

中には「研究の壁にぶつかっているので、同じ専攻を学んでいる方と話して突破口を見つけたい」「日頃研究室にこもりがちなので、いろいろな方とお話しして気分転換をしたい」という意欲的な声も聞かれ、参加者同士の交流の意義を改めて感じられる場となりました。

#### レストランでのお食事と SEIYA さんのマジックショー

自己紹介を終え、緊張がほぐれた学生たちの表情には余裕が見られるようになりました。西野選考委員による乾杯の挨拶で会食が始まり、5~6名ずつのグループに分かれたテーブルにはフルコースの美味しい料理が運ばれました。

各テーブルでは和気あいあいとした会話が進む中、プロマジシャン SEIYA さんが鮮やかなジャケットを着て登場。カラフルなリングや杖を使ったマジックを披露し、学生たちを魅了しました。また、各テーブルを回りながら、手元で手玉が消えたり増えたりするトリックや、学生が選んだカードを見事に当てる技を披露し、歓声が上がりました。



# 「共通点さがしゲーム」

次に、グループ内の仲を深めるために「共通点さがしゲーム」を実施しました。 このゲームはグループごとに「このテーマなら全員が同じ答えを選ぶ可能性が高い」というお題を設定し、 回答の選択肢を3つまで決定。それぞれが選んだ答えをカードに書き、「せーの!」で一斉に提示します。

例えば、「日本食といえば?」というお題の場合、「すし」「すき焼き」「天ぷら」という選択肢が挙げられ、 ほとんどのグループで答えが一致しました。このように、グループ内で一致する答えを導き出す過程で自然と 話をすることを目的としました。

答えが2回揃ったグループにはビンゴカードが複数枚プレゼントされました。グループ内で答えが一致すると笑顔と歓喜の声が上がりました。メンバーを変えて再度挑戦し、勝ち抜けた4グループの代表者にじゃんけんをしてもらい、さらにビンゴカードが追加されました。











# 「スイーツビュッフェ」

レストランから自己紹介を行なった会議室に戻ると、美しく盛り付けられたプチデザートとドリンクがケータリングスタッフにより準備されていました。

5種類のスイーツと飲み放題のコーヒー、紅茶、ジュースを手に、自由に席をとり、レストランで打ち解けたグループや新しく知り合った仲間同士で会話を楽しむ姿が見られました。











3

# 「ビンゴ大会」

その後、恒例の「ビンゴ大会」が始まりました。ビンゴカードは基本1枚ですが「共通点さがしゲーム」で 勝ったグループのメンバーは追加のカードを持っています。

期待は高まります。

豪華賞品をかけたビンゴ大会では、モバイルバッテリーや映画ギフトカード、神戸牛セット、Amazon ギフトカードなどが用意され、最後は財団側の者とじゃんけん勝ち抜けで賞品を選ぶことになりました。















最後に、越智理事より、「奨学生の皆さんが、本日のような交流会を通じて知り合いとなり、留学生と国内生が一緒に楽しい時間を過ごすことは、とても有意義な事と実感しました」と閉会のご挨拶をいただき交流会は終了しました。

#### The Winner of the BINGO game.

















今回の奨学生交流会はバス移動がなかった分、 初対面の人とじっくりと話す時間が多く取れた ことが特徴的でした。

アンケート結果からもゲームやビンゴゲーム を通じて他の大学の国内生や留学生とも気軽に 話すことができ、研究内容についての情報交換 もできたことがわかります。

藤井国際奨学財団では来期以降も 45 名程度 の奨学生を採用予定です。また、2026 年には 奨学財団が設立されて 20 年を迎えます。当初 留学生を対象としていた給付枠が 2016 年には 国内学部生にも広げられ、事業の多様性がさら に広がっています。

ここで出会った多くの奨学生がどのような社 会人として活躍しているのかを知ることは大き な喜びです。

20 周年には奨学生の同窓会を開催できるよう、 事業をさらに充実させてまいります。

# 【アンケート結果】

1. 全体的な印象はいかがでしたか?

とても満足37人やや満足4人どちらでもない1人

2. 交流会のなかで印象に残ったプログラムはありましたか?

自己紹介10人マジック14人食事14人共通点さがしゲーム11人スイーツビュッフェ16人ビンゴゲーム21人

3. 交流をはかれた人数は?

1~2人 **5~10人** 10人以上 2人 **34人** 6人